



# 学校便り

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> Eメール [kanai-es@sado.ed.jp](mailto:kanai-es@sado.ed.jp)

佐渡市立金井小学校 平成28年10月25日 第7号

## 実りの秋を迎え

校長 羽二生 裕

木々の葉にも少しずつ色の変化が見え始め、秋への深まりを感じる頃となりました。学校では「スポーツの秋」から「文化の秋」を迎えています。



ゴールまでみんなで応援

校内マラソン大会では、多くの保護者の皆様から子どもたちへの温かい声援をいただきました。本当にありがとうございました。応援の声に励まされ、最後まであきらめないで力走する子どもたちの走りに感動しました。最後まで走りきった満足感が、これからの子どもたちの心の成長を支えてくれるものと確信しています。走り終えた高学年や中学年の子どもの作文を読み、私自身、喜びが湧き出てきました。

マラソン大会は、私にとって「かべ」でした。それには理由があります。私は長距離走が苦手です。息が苦しくなるし、足も痛くなったりするので、あまり好きではありません。でも、今日は初めて見に来たお母さんに「頑張っ！て！」と言われました。少しずつ、スピードを上げて1秒でも速くゴールすることができました。すごく励みになりました。来年も同じ距離です。今「かべ」を乗り越えられたなら、来年だってきっと乗り越えられる。そう信じて、来年も頑張ろうと思いました。「頑張れ！自分！」

マラソン大会で去年の記録をこすことができました。何回も歩きたくなったり、スピードをおそくしてしまったりしたけど、最後の方で頑張っ！て走って何人もぬかすことができました。途中、あのままずっと同じスピードで走っていたら、去年よりも順位もタイムもおそくなっていたと思うので、頑張っ！て走ってよかったと思います。この大会で得たことは、最後まであきらめないで走れば、順位が上がったり、タイムが速くなったり、何かいいことが起きるということです。

さて、10月3日の夕方、嬉しい知らせがありました。大隅良典東京工業大学名誉教授が、日本人3年連続となるノーベル賞（医学生理学賞）を受賞されました。記者会見で大隅氏は、子どもたちへのメッセージを問われると「何か分かったら、必ず次に新しい疑問がわいてくる。『あれ？』と思うことはたくさんある。そういう気付きを子どもたちには大事にして欲しい。」と仰っていました。私はこの会見を聞きながら、今の学校教育で大事にしなければいけない示唆に富んだお話であると思いました。子どもたちには、是非自分の身の周りの自然や歴史などに興味・関心をもち、自分の目で確かめ、様々な面からじっくりと考える子どもに育てて欲しいと思いました。

おすすめよしのり

秋も深まりこれから、紅葉の季節となっていきます。10月29日（土）は、金井小学校の文化祭です。子どもたちのこの一年間の学びを発表する「学習発表会」があります。金井小文化祭は、学校を地域に開き、地域への学校文化の発信になります。保護者の皆様や地域の皆様の御来校を心よりお待ちしております。



『佐渡の宝！「さどおけさ」』